

VALORIZE ROTARY
COM
FÉ E ENTUSIASMO



ロータリーを高めよ 思いを尽くし熱意を尽くし

1990-91年度国際ロータリーのテーマ

- 国際ロータリー会長 パウロV.Cコスタ ●第256地区ガバナー 原 猛
 - 会 長——小林九満太 ●副会長——渡辺 宏策 ●幹事——斎藤 弘文
 - SAA——渡辺 喜彦、五十嵐 力 ●例会日——毎週水曜日 12:30～
 - 例会場——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 34-3311
 - 事務局——三条市旭町2-5-10 TEL 35-3477
- (FAXも同番号 午後3時以後はFAXに切り替わります)
- クラブ会報委員——渋谷 正一、金沢 興宗、木許 紘一

出席者会員数	会員 77名中 52名
先々週出席率	92.11% (前年同期 90.85%)
今日のお花	クジャク草、デンハーレー
ヴェジター	三条南より 横山準司君、小金沢義雄君、田中久作君、金子六郎君 三条北より 小林 満君、本間建雄美君 大宮中央より 奈良部誠君
先週のメイクアップ	9/7 札幌幌南へ 五十嵐晋三君 9/10 三条南へ 細井増雄君、古沢富雄君、斎藤権八君、野水文治君、外山一郎君、渡辺惣吉君 9/11 三条北へ 小林英雄君、広岡豊作君、野村竹三郎君、渡辺宏策君、近藤雄介君、五十嵐総一君 9/11 新潟へ 加藤紋次郎君

会長挨拶 小林(九)会長
プロ野球のセ・リーグでは巨人が早々と優勝を決め、パ・リーグでは西武がマジック6でこここのところモタモタして居りますが、これも優勝は決定的です。巨人ファンと西武ファ

ンにはおめでとうと申し上げますが、一般的なプロ野球ファンにはシラケムードが出ています。優勝が決定してからは、退屈な消化試合が多いようですし、個人のタイトル争いと云っても興味をもつ人は少ないようです。去年のパ・リーグのように最終試合まで優勝がもつれ込むようだと、野球に余り関心のない人でもハラハラし、全国的に興味盛り上がるようです。

マーじゃんもそうですが、一人勝ちは興ざめます。勝負事はせり合ってこそ、面白いように思いますが如何でしょうか。

幹事報告 斎藤(弘)幹事

◎例会変更のお知らせ!

見附RC——9月20日(木) 野外親睦例会 PM 6:30~ 於 大平森林公園
 吉田RC——9月16日(日) 移動例会 AM10:00~ 於 国上山
 9月28日(金) クラブ協議 PM 7:00~ 於 産業会館

◎例会場移転について

10月1日(月)より

柏崎東RC——毎週月曜日(柏崎ベルナール)

◎ロータリーの友より

1991年卓上用ロータリー・ダイアリーご案内がとどいております。

※1部1,000円+30円(消費税)

1991年壁掛用ロータリー・カレンダーご案内

※1部500円+15円(消費税)

◎いからしの里より 広報誌「あやの前」第30号がとどいております。

◎米山功労者としてメダルとたてがとどいております。

平原信行君、外山一郎君

ニコニコボックス ¥21,000

奈良部誠君(大宮中央RC)

はじめてメーカーキャップさせていただきます。よろしくお願ひ申し上げます。

小金沢義雄君(三条南RC)

ボックスに協力致します。

平原君、杉野君、石橋君、銅谷君、五十嵐(寿)君、五十嵐(晋)君、五十嵐(昭)君、近藤君、斎藤(弘)君、藤田(説)君、藤田(紘)君、渡辺(惣)君

巨人優勝。

小林(九)君 昨日東京の二男に男子出産。私共には初めての男の子の孫で昨晩は妻と

祝盃をあげました。万歳。

加藤(紋)君 VIPチャリティーゴルフ大会多数の御参加を得て盛況裡に終了させて頂きまして誠に有難うございました。

五十嵐(総)君 バンコック出張の為久しぶりのホームクラブの出席です。

内山(辰)君 9月5・6日、第27回目の見本市が無事終了しましたので。

卓話 青少年問題

藤田説量君

ロータリーの青少年問題と云うのは、良い方の青少年問題です。

RIの本部の指導は、就職の世話、勉強についての指導、パワーを伸ばしてやるための協力をロータリーのメンバーがそれぞれやるようにプログラムが組まれている。

私の専門とします保護司関係の青少年問題は悪いほうの青少年問題であります。良い話はあまりないのです。

警察の方に聞きましたら、人口比で青少年の非行ワースト3に新潟県が入るのです。

大阪、京都の次が新潟県。その新潟県の中で人口比が一番悪いのは湯沢で、次が新潟、その次に三条。計算すると全国で9番目に入るような報告を聞いたのです。

三条市もいろいろな職業が入り交じっておるためいろいろな問題が露呈してきたと言うのが本当だろうと思います。

実は、この間ライラの集まりで私が委員長でございますので、話をしろと言われたメモがありますので、2、3ふれてみたいと思います。

第一に、若い方で挨拶の出来ない方が非常に多いということです。挨拶をするようにしてほしいということです。職場で新人をお雇いになりますと分かることですが、上司の方から「おはよう」と言われて、やっと「おはよう」と言う。「ございます」が付かない。上司と同じ言葉をオウム返しに言う人が多い。

職場で一番始めに教えなければならないのは、挨拶の仕方を教える。

挨拶は人からされて答えるのは挨拶でない、本来自分の意思を相手に伝える動作をすることが挨拶である。自分がやらなければならないことを人から言われなければかえせない、敬語が使えない、と言うことが非常に多い。

挨拶ができるという事は、社会人としての通行手形である。

外国に言って簡単な言葉で挨拶をしあうと言う事は、ユーモアの一つであり海外においてもパスポートと同じようなものだろうと思います。



挨拶の出来ない者が多く育っております、これはどういう所から来るかと言うと、人間が本来社会人として備えていなければならない条件を学校では教えない、その前に家庭で教えてないと言うことももちろんあるのです。子供が挨拶のできない親達は、ほとんど挨拶をしない、私の見るところではほとんど間違いない。

ある所で挨拶の話になり、私のとなりにいる人が、私の向かいも隣も挨拶をしなくなりました。三代も同じ所に住んでいるので、その家のお爺さん達とは挨拶を気持ち良くかわしていたのですが息子達の時代になったら挨拶をしてくれない、だからこちらもしなくなる、もちろん子供達もしない。

その向かいの人と隣の人はどう言う方ですかと聞いたらどちらも、学校の先生だと言う。そういう学校の先生が教えている生徒は挨拶を覚えるはずがない。

自分の地域で挨拶をし合うと言う事は、これは教育でもなんでもない、人間のはんらいの身に備えなければならない条件であるのです。それを教えていない。

難しいことは分かりませんが教育と言うのは人を育てると言う事、食べさせて、着せて大きくすることともう一つは社会に出たときに適用する人と交わる事のできる人間として身に備えるものをきっちり教えることが基本的に教育であると思う。これが欠けている、なぜ欠けているかと言うと戦前の挨拶と言うのは、挨拶をしない人間は社会に適用しない。適用しないから飯が食えない、だから挨拶をすると言う三段論法でなかったかと思う。今は挨拶をしなくても飯は食える、飯は誰でも食える、犬でも猫でも食える、まして人間は食える、それで人間として素養が備わっているかと言うとそうではない。

食うための挨拶ではなく、人間としてきっちり身に備えるべき挨拶を家庭や学校で教えることが欠けてきている。

教育の問題が変わってきている学校教育、社会教育と言う二つのジャンルに分けて語られて来ましたが、二年ほど前から生涯学習という言葉が変わってきました、それは教えると言う事より学習する姿勢が大切である。学と言う気持ちが子供の時代から大人になるまで失わない事を教える事が教育行政の基本的なものの教え方を指導したもので生涯学習という言葉が使われている、肝心の身に備わるべき人間の基本条件をきっちり教えなければ駄目だと言うところまで突っ込まれていない事が残念だ。

第二番目は対話のできる人間になってほしい事をお願いしたのです。

喋ればみんな対話だと思っているがそうでなく相手の言った事を受けて自分の考えを混ぜながら相手に答えるのが対話です。

相手の言う事をまったく聞いてなくて自分の言うことだけ言う人がいます、これは対話でない。世の中には対話のできない人がたくさんおります。重要な話をもってきていろいろな話をしている、片方はAのこと片方はBの話Aの話が終わるとBの話、Bの話が終わるとAの話をする、人間の対話と言うのはAの話とBの話をプラスしてアルファが生

まれてこなければ対話ではない。人間のものの考え方に三段論法と言う西洋の定式がある。AとBのぶつかり合いがあってCが生まれて三段論法が成り立つ、その三段論法にも誤りがあることも私たちは知っています。それが西洋の物の考えの基本線です。

家は材木でできている、爪楊枝は木で出来ている、だから爪楊枝で家が出来ると言う結論がなり立つ。これは明らかに三段論法の誤りで、そうでなくAとBがぶつかりあってAとBを含めたより大きな世界が生まれて来るのが対話です。対話がないと言うのは相手の話を聞いていないと言う事です。若い人達が社会にでてお客様と対応する時に言葉を知らない、敬語を話せない、話が通じない、表現の仕方を知らない人が多いのです。

お客様にたいしてこう言うふうに対応しなさいと言うと、年寄りにも子供にも使うTPOがわからない。相手によって同じ表現であるがどういう言葉遣いでやるのかがわからない。それは相手の気持ちをくむことの出来ない状態を私はこれを応答性のない人間と言っているのです。受けて答える事の出来ない人がどんどん育っている、今の日本人の欠陥です。

これから日本が世界の経済大国だと非難される場面があるのですが、ある外務大臣の話でドイツの首相が日本人は三つある、一つは戦争をやったことに反省がない、一つは金が有るのに低開発国の面倒を見るのが薄い、一つは日本人が黄色い人種であるといわれたそうである。黄色は黄色で美しさがある、表現の仕方がある。

人の心が分る人間として日本が振る舞うと言う事だろうと思うのですが、その低開発国に対する配慮をやらないと言う事の大きな原因はなにかと言うと人の心が分からない人間が育ってきている、何故分からないかと言うと家庭の中で甘やかされて自分のものの考えしかなく回りを見る目がない、人の話を聞く耳がない、応答性がない、いわゆる対話のできない人間が育っているのが原因である。

もう少しお互いの気持ちが分かる人間を育てなければならないし、育ててもらわなければならないと思う。対話のできる人、人の気持ちを育てることが必要だ。

最後にマナーができるかできないかと言う事です。

今は洋食のマナーを勉強するぐらいでその他お茶の世界がマナーを教えている。

日本人のマナーの教育は学校でやるか家庭でやるかと言えばこれは基本的には家庭で行う、親父がいなくても奥さんがきっちり教えたと言うのが今までの世界であったと思う、そういう事がない。それはなぜかと言うと家庭の中に学びがないからで、学びがないと言うと大袈裟ですがよその家庭との交流が少ない。

社会の空気を入れる広場、人と交流する場所を家の中に設定しなければならない。

大切な方は家に入れるが普段の交流の場としての広場を設定していない、何人かの家族ぐるみの交流があって初めてよその家庭の在り方を学べる。

今の私たちの家庭はややもすると閉鎖家庭になりやすい。そういうことが青少年の非行

の基になっている事を私たちは反省しなければこの非行問題に対する対処と言うものではない。

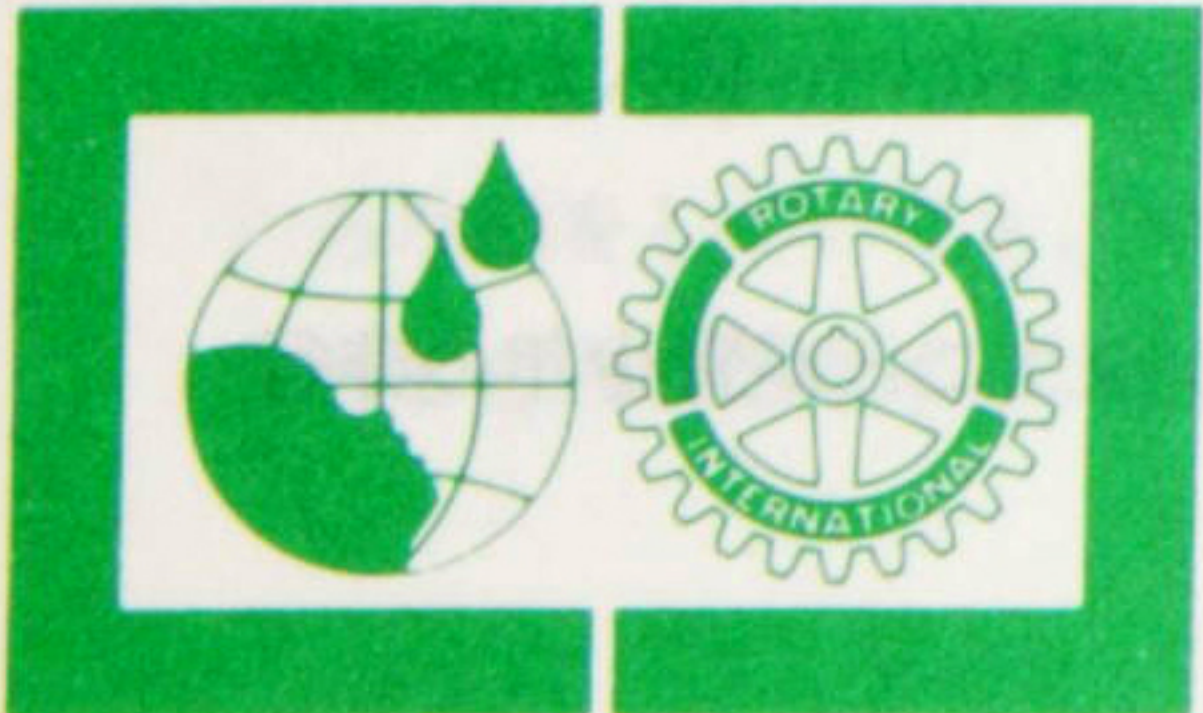
（以下は非常に薄い文字の文章で、内容はほとんど読み取れない。おそらく、上記の文脈に関連する議論や報告の続きであると思われる。）

9月19日例会 卓話 木許紘一会員

9月26日例会 クラブアッセンブリー

10月3日例会 職業奉仕委員会

PolioPlus



“開発途上国の新生児を対称に
ワクチン投与資金協力を”